

〈情報の関連付け〉

【資料を基に、必要な情報を条件に合わせて選択し、構成する力】

問い 一

① 資料を読み取り、目的や意図に合わせて情報を活用できる。

正答

- ・体験見学場所の空欄に「グラウンド」と記述している。
 - ・時間が「10分」と記入されていること。
 - ・注意点の欄に日頃の学校生活上で得た知識や経験が入った記述が一つ以上ある。
- (例)「順番を守る」「飛びおりにように注意する」「ステージに上がらないようにする」など。

*この三点が正しく記入されていること。

誤答

- ・正答の三点(体験見学場所・時間・注意点)のうち一つでもできていないもの。

無答

- ・一切の記入のないもの。

② 目的や意図に合わせて行動計画を立てている。

正答

- ・設定するコースと体験・見学場所が一致し、六十分以内で三か所以上を回ってきていれば正答とする。(残り時間を十分以内とする。)

*場合によって、コースと場所の整合については問二の記述を加味して判断する。

誤答

- ・コースと体験・見学場所が一致していない。 ・時間が十分より多く余っている。

無答

- ・体験・見学場所、時間の記入がない。

③ 目的や意図に合わせて自分の経験や知識を活用できる。

正答

- ・注意点やすることの欄に日頃の学校生活上で得た知識や経験が入った記述が一つ以上ある。

*場合によって、問二の記述を加味して判断する

誤答

- ・注意点やすることの欄が資料Bのみの記述などで、日頃の学校生活上で得た知識や経験が入っていない。

無答

- ・することや注意点の記入がない。

(解答例)

コース名	行く場所	すること	注意点
体を動かそうコース	体育館	一輪車やフラフープ体験	道具をこわさない、順番に使う
	グラウンド	50mコースを走る	転ばないように声かけをする
	子ども池	とびこし遊び	無理にさせない
おすすめ遊びコース	学校の森	虫とり遊び	とった虫は、逃がす
	子ども池	草遊び	草で手を切らないように
	グラウンド	遊具で遊ぶ	順番を守る、滑り台は逆からのぼらせない
学習わくわくコース	一年生教室	机に座らせる	落ちないように気をつけさせる
	理科室	人体模型や標本を見せる	そっと触るようにさせる
	音楽室	ピアノや楽器に触る	壊さないように使い方を伝える
	職員室	見学して、先生紹介	騒がないようにさせる
おすすめの景色コース	屋上	学校の周りの町を見る	さくに触らせない
	学校の森	森や木の紹介	枝を折らないようにする
	子ども池	池の観察をする	落ちないようによく見る
行事紹介コース	音楽室	音楽会の歌を見せる	楽器などに触らせない
	グラウンド	応援歌を歌う	びしっと腕を上げて見せる
	体育館	全校朝会の真似をする	しっかり話を聞くように声をかける

問い 一

(文字数)

【時間内に指定された文字数で記述する力】

④ 指定された文字数で書かれている。

正答

・制限字数を超えて記述している。(原稿用紙の波線を超えていなければならない。)

誤答

・制限字数まで達していない。(原稿用紙の波線を超えずに終わる。)
または、超えている。

無答

・全く書けていない。

【注意】

360字以上を満たしていない場合、つまり「誤答」「無答」の場合、「この後⑤以降の問題は、正しく答えていても、「無答」とする」と。
460字を超えた場合は、「この後⑤以降の問題は採点の対象とする。」

〈段落〉

【段落を構成する力】

⑤ 大きく三つの構成で、五段落以上で記述している。

正答

・おおよそ、「①考えたコースとその理由」「②『体験・見学場所とそこですること』とその場所での『注意点』」「③まとめ(感想や意見)」の三部構成である。②の部分は、体験見学場所ごとに段落をつけるので、合計五段落以上の文章となる。

誤答

・改行が全くない。改行されていても一文字下げができていない。構成を意識せずに記述している。改行が多すぎるものも誤答とする。

無答

・段落が全くない。

〈立場・目的〉

【目的を明確にして記述する力】

⑥ 理由を記述している。

正答

・自分が選んだコースの理由が記述されている。

誤答

・選択したコースに関して妥当性のある理由となっていない。

無答

・立場や目的を明確にした記述がない。

〈知識・体験〉

【根拠を生かして記述する力】

⑦ 選択した資料の内容に基づき、自分の知識や体験を記述している。

正答

・選択場所であることや注意点に対し、妥当性のある自分の知識・体験を一か所以上記述している。

